

地域公共交通計画に関する取組状況(令和6年度)			
地域公共交通計画			令和6年度の取組状況
基本方針	施策	取組内容	
【基本方針1】まちと暮らしを支える公共交通ネットワークの構築	1-1 生活交通の確保に向けた公共交通ネットワークの再編	1)面的なネットワークの維持	【路線再編による運行効率化】 ・令和6年度市内バス路線減便数は606便 ・その他、バス事業者各社が地下鉄駅等への短絡化や路線廃止を実施 【路線継承】 ・駒岡線の継承運行に関する準備を実施 【その他】 ・高速バスによる増便対応(令和6年12月開始。02屯田線 札幌ターミナル行き 平日朝1便)
		2)バス路線再編による運行効率化	
		3)地域特性に応じた代替交通の導入	・手稲区におけるデマンド交通「チョイソコていね」を運行 ・空沼線、栄町篠路線の廃止に伴う代替交通の導入検討
		4)地域と取り組む移動手段の確保	・「厚別ふれあい循環線」の廃止に伴う地域が主体となった交通の導入検討
		5)小型車両・デマンド交通等への転換	・デマンド交通「チョイソコふじの〜」の運行(株じょうてつ)
		6)連節バスの導入検討	・令和6年秋、創成東地区を中心に連節車両のテスト走行を実施 (道外のバス事業者から、車両借り受けと運転手派遣)
		7)バスーバス乗継割引の導入検討	-
	1-2 交通結節点等を介した交通モード間の連携	8)交通結節点等の機能強化	【真駒内駅前地区まちづくり】 ・駅前の交通広場、周辺道路等について都市計画道路としての都市計画決定を実施
【基本方針2】持続可能で安定した運営体制の確立	2-1 持続可能な事業運営に向けた取組	9)持続可能な運営に向けた収支改善	【運賃改定】 ＜路線バス＞ 令和6年12月、札幌市内の特殊区間運賃を改定 特殊区間1区 210円→240円、特殊区間2区 240円→270円 その他対キロ区間運賃も改定 ＜路面電車＞ 令和6年12月運賃改定 【札幌市補助制度改正】 ・移行路線とそれ以外の路線に対する補助内容の見直し等、バス路線維持補助制度の拡充に向けた調整を実施
		10)運転手確保に向けた取組	【待遇・労働環境改善】 ＜路線バス各社の取組＞ ・ベースアップ、初任給引き上げ、昇格 ・年間総労働時間の短縮、年間休日数の増加 ・休憩室の改修など職場環境改善の検討 ＜行政による支援＞ ・二種免許取得補助の実施(国土交通省、札幌市) ・施設整備補助、就労支援補助金、人件費増加分への支援検討(札幌市) 【新規採用に向けた就職説明会等の開催】 ・自衛官向け運転体験会・合同就職説明会 (北海道運輸局札幌運輸支局、北海道運輸局室蘭運輸支局、自衛隊札幌地方協力本部) ・運転手合同就職相談会inさっぽろ(北海道バス協会・北海道) ・バスドライバー就活フェア(北海道バス協会) ・運輸業界就職相談会(北海道) ・営業所見学会、職業体験会(バス事業者) 【イベント出展等による職業の魅力紹介】 ・ミニさっぽろ2024で子どもたちに職業の魅力をPR ・北海道さっぽろ圏移住フェアでバス運転手の仕事紹介 ・動画・SNS等を活用したバス運転手の魅力PR 【日本版ライドシェア】 ・令和6年6月事業開始。実施事業者数29者(令和6年度末) 【その他】 ・外国人材の受入れに関する連携協定の締結(じょうてつ、北海道アルバイト情報社、札幌市)
		11)事業者間での協働による取組の検討	-
	2-2 新技術等の活用の検討	12)新たな決済手段の活用検討	・地下鉄におけるクレジットカードタッチ決済導入に向けた実証実験準備
		13)新たな公共交通システムの導入検討	・(再掲)令和6年秋、創成東地区を中心に連節車両のテスト走行を実施 (道外のバス事業者から、車両借り受けと運転手派遣)

地域公共交通計画に関する取組状況(令和6年度)			
地域公共交通計画			令和6年度の取組状況
基本方針	施策	取組内容	
【基本方針3】利用環境の向上等による利用促進	3-1 わかりやすい運行情報の提供	14)自動運転に関する検討	-
		15)運行情報発信体制の充実	・各公共交通事業者によるホームページ等を活用した情報発信 ・路線バス事業者のバスロケーションシステムによる運行情報提供 ・「さっぽろえきバスナビ」による市内主要公共交通機関の運行情報提供(札幌市)
	3-2 待合環境・走行環境等の向上	16)待合環境の向上	【路線バス各事業者の取組】 ・自社所有バスターミナルでのトイレ改修 ・医療施設と連携したバス停移動・屋内待合所設置 ・バス停における上屋内の照明設備改良 など
		17)バスターミナル機能の維持	・各バスターミナルにおいて、適切な管理運営を行い、その機能の維持に努めた
		18)路面電車の活用及び機能向上	【既設線機能向上の取組状況 R6年度実績】 ・制震軌道化工事 ・車両基地改良工事 ・低床車両の導入 1両 ※新型低床車両「ポラリスⅡ」
	3-3 バリアフリー化や脱炭素化の推進	19)バリアフリー化された車両の導入	【バリアフリー化された車両の導入率 R6年度末時点】 ・路面電車低床車両 39% (R11年度目標値:50%) ・ノンステップバス 51% (R11年度目標値:75%) ・ユニバーサルデザインタクシー 26% (R11年度目標値:31%)
		20)旅客施設のバリアフリー化	旅客施設のバリアフリー化状況 R6年度実績値(累計) 【地下鉄】 ・地下鉄改札口へのエレベーター設置基数 73基 ・トイレの改良を実施した駅数 9駅 ・案内標識の多言語化 40駅 ・ホーム案内放送の男女別音声案内化 46駅 ・案内表示機のCUD化 24駅 【JR駅】 ・バリアフリー整備駅数 20駅 【バスターミナル】 ・バリアフリー化された利用者の多いバスターミナルの箇所数 4箇所 【路面電車】 ・停留場のバリアフリー整備箇所数 14面
		21)脱炭素につながる次世代自動車の導入検討	-
	3-4 公共交通の利用促進に向けた取組の推進	22)小学生への公共交通に関する学習の実施	・小学校への学習資料、教師向け指導書の配布及び研究授業を実施
		23)企画券等による需要喚起	・交通と観光との共創による北海道MaaS構築に向けた取組にバス事業者として参画 ・温泉日帰りバック券適用施設の追加 ・スキー事業とタイアップした企画券による需要喚起の検討